公立高等学校配置計画

（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））

- 令和９年度（2027年度）高校配置計画変更
- 令和10年度（2028年度）高校配置計画変更
- 令和11年度（2029年度）高校配置計画

令和８年（2026年）９月

北海道教育委員会

目　　次

Ⅰ　公立高等学校配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））策定の考え方

1　趣旨 …… 1

2　中卒者数の見込み …… 1

3　基本的考え方 …… 1

4　配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））の概要 …… 2

5　地域連携校等の再編整備の留保 …… 2

6　配置計画の変更 …… 2

Ⅱ　公立高等学校配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））の内容

1　中学校卒業者数 …… 3

2　欠員の状況 …… 3

3　定員及び中学校卒業者数に対する割合 …… 3

4　配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））の学校別内訳 …… 4

5　中学校卒業者数の推計及び推移 …… 8

Ⅲ　公立高等学校配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））学区別個表

空知南学区 …… 10
空知北学区 …… 11
石狩学区 …… 12
後志学区 …… 14
胆振西学区 …… 15
胆振東学区 …… 16
日高学区 …… 17
渡島学区 …… 18
檜山学区 …… 19
上川南学区 …… 20
上川北学区 …… 21
留萌学区 …… 22
宗谷学区 …… 23
オホーツク中学区 …… 24
オホーツク東学区 …… 25
オホーツク西学区 …… 26
十勝学区 …… 27
釧路学区 …… 28
根室学区 …… 29

Ⅰ　公立高等学校配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））策定の考え方

１　趣旨

「公立高等学校配置計画」（以下「配置計画」という。）は、高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業者数（以下「中卒者数」という。）の状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズ、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図るために、令和９年度（2027年度）及び令和10年度（2028年度）の計画の一部を変更し、令和11年度（2029年度）の配置計画を策定するとともに、令和12年度（2030年度）から令和15年度（2033年度）までの見通しを示すものである。

２　中卒者数の見込み

本道の中卒者数は、令和９年（2027年）に３万9,174人、令和10年（2028年）に３万8,118人、令和11年（2029年）に３万7,875人となる見込みであり、その後も総じて減少傾向にある。

３　基本的考え方

配置計画の策定に当たっては、令和５年（2023年）３月に策定した「これからの高校づくりに関する指針」改定版（以下「指針」という。）に基づき、中卒者数の増減に適切に対応し、教育水準の維持向上などを図る観点から、市町や圏域において複数の高校が設置されている場合、関係市町村の参画を得ながら高校の役割分担や定員調整も含めた具体的な配置の在り方を検討するなど、地域の実情、私立高校の配置状況等を考慮しながら定員の調整や学校の再編整備等を行う。

なお、生徒の多様な学習ニーズなどに対応するため、次のとおり多様なタイプの高校づくり等を推進する。

また、いわゆる高校無償化やそれに伴う高校教育改革等の国の施策による生徒の進路動向への影響を勘案する。

(1) 総合学科の設置

生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じて、普通教育と専門教育に関する多様な科目を選択して学ぶことができ、幅広い進路希望に対応が可能となる総合学科の設置を進める。

(2) 単位制の導入

学年による教育課程の区分を設けず、高校の生徒が必ず学ばなければならない科目のほか、学校が開設した多数の選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて自分で科目を選択し、主体的な学習が可能となる単位制の導入を進める。

(3) アンビシャススクールの導入

多様な学校選択幅のある学区において、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や、一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育むことに重点を置くアンビシャススクールの導入を進める。

(4) 普通科新学科の設置

学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に則した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科及び地域や社会の将来を担う人材を育成し、現在・将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに重点的に取り組む学科の設置を進める。

(5) 職業学科の学科転換

産業構造の変化や学科の配置状況、生徒の進路動向などを考慮し、職業学科の学科転換を検討する。

(6) 地域連携校の導入

他の高校への通学が困難な地域を抱え、かつ地元からの進学率が高い(普通科はおよそ1/2、専門学科はおよそ1/4)第１学年１学級の高校を地域連携校とし、協力校との連携や北海道高等学校遠隔授業配信センターからの遠隔授業の配信など、教育活動への支援等により、教育環境の充実を図る。

４　配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））の概要

決定済みの令和９年度（2027年度）及び令和10年度（2028年度）の計画を一部変更するとともに、新たに令和11年度（2029年度）の配置計画を策定する。

(1) 学級定員

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、１学級の定員は40人とする。

(2) 令和９年度（2027年度）高校配置計画の変更

全日制課程

①　学級増

令和８年度（2026年度）道立高等学校入学者選抜の結果、第２次募集後の入学者に１学級相当以上の欠員が生じ、学級減を行った30校について、中卒者数の状況などを勘案し、令和８年度（2026年度）と同様の募集学級数となるよう、それぞれ学級増を行う。

また、池田高校については、町内の中卒者数の状況などを総合的に勘案し、１学級増を行う。

②　再編統合・普通科新学科の設置

市立札幌藻岩高校及び市立札幌啓北商業高校の再編統合により設置する市立札幌彩輝高校について、検討中としていた学科の名称を、普通科新学科は未来デザイン科、商業科はビジネスイノベーション科とする。

(3) 令和10年度（2028年度）高校配置計画の変更

全日制課程

①　学級減・学科転換

通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、在籍状況などを勘案し、旭川工業高校で１学級の減を行う。

②　再編統合

釧路商業高校及び釧路明輝高校の再編統合に関し、新設校の使用校舎について、両校の校舎の状況や新設校での教育活動などを勘案し、釧路明輝高校校舎を使用する。

(4) 令和11年度（2029年度）高校配置計画

いわゆる高校無償化に伴う生徒の進路動向や、本年２月に国が示した「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」に基づく施策の動向を見極める必要があることなど、高校教育を取り巻く大きな環境変化を踏まえると、今後の高校配置をより慎重に検討する必要があることから、令和11年度（2029年度）においては、定員の調整や学校の再編整備等は実施しないこととする。

５　地域連携校等の再編整備の留保

第１学年１学級の高校のうち、地域連携校及び全日制課程で農業、水産、看護又は福祉に関する学科を置く高校については、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続で20人未満となった場合であっても、道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備を留保することとしており、こうした状況となっている上川高校、天塩高校、羅臼高校について、再編整備を留保する。

６　配置計画の変更

配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減、市町村立高校や私立高校の設置・廃止により、生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合など、学区における中卒者の進路動向等を見極めて、毎年度再検討するほか、次の(1)～(3)に掲げる場合にあっては配置計画を変更することとする。

(1) 入学者選抜における第２次募集の合格発表後、配置計画で示した募集人員に対し１学級相当以上の欠員が生じた場合

(2) 学級減と併せた学科転換、地域連携校の導入等を実施する場合

(3) 市町村立高校について、当該市町村において募集人員等の変更を行った場合

Ⅱ　公立高等学校配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））の内容

１　中学校卒業者数

令和８年(2026年)(実績)	39,940人	(対前年比 30人減少)
令和９年(2027年)(推計)	39,174人	(対前年比 766人減少)
令和10年(2028年)(推計)	38,118人	(対前年比 1,056人減少)
令和11年(2029年)(推計)	37,875人	(対前年比 243人減少)

２　欠員の状況　　（令和８年（2026年）５月１日現在）

公立高等学校全日制	公立高等学校定時制	私立高等学校	合　計
4,038人　(+86人)	1,261人　(+112人)	654人　(-933人)	5,953人　(-735人)

※（　）は対前年増減。中等教育学校を除く。

３　定員及び中学校卒業者数に対する割合

区　分			公立 全日制	公立 定時制	公立 中等教育学校	高等専門学校	私立	計
令和8年度		定　員（人）	27,876	2,160	240	720	11,051	42,047
		割　合（%）	69.8	5.4	0.6	1.8	27.7	105.3
公立高等学校配置計画案	令和9年度	学級増（人）	1,280	0	0	0	0	1,280
		学級減（人）	-80	0	0	0	0	-80
		新　設（人）	320	0	0	0	0	320
		募集停止（人）	-520	0	0	0	0	-520
		差引増減（人）	1,000	0	0	0	0	1,000
		定　員（人）	28,876	2,160	240	720	11,051	43,047
		割　合（%）	73.7	5.5	0.6	1.8	28.2	109.9
	令和10年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	-240	0	0	0	0	-240
		新　設（人）	200	0	0	0	0	200
		募集停止（人）	-320	0	0	0	0	-320
		差引増減（人）	-360	0	0	0	0	-360
		定　員（人）	28,516	2,160	240	720	11,051	42,687
		割　合（%）	74.8	5.7	0.6	1.9	29.0	112.0
	令和11年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	0	0	0	0	0	0
		新　設（人）	0	0	0	0	0	0
		募集停止（人）	0	0	0	0	0	0
		差引増減（人）	0	0	0	0	0	0
		定　員（人）	28,516	2,160	240	720	11,051	42,687
		割　合（%）	75.3	5.7	0.6	1.9	29.2	112.7

※１　高等専門学校及び私立の定員については、令和９年度（2027年度）以降は見込みを記載。
※２　霧多布高校（浜中町立）の１学級の定員は30人としている。
※３　えりも高校（えりも町立）の１学級の定員は35人としている。
※４　大空高校（大空町立）の１学級の定員は36人としている。
※５　二セコ国際高校（二セコ町立）の１学級の定員は35人とする。

4　配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））の学校別内訳

(1) 令和８年度（2026年度）道立高等学校入学者選抜における第２次募集後に学級減となった学校の取扱い

学区	設置	学校名	課程	小学科	R８（2026）募集学級数	R８（2026）開設学級数	R９（2027）募集学級数
空知南	道	美唄尚栄	全	総合	2	1	2
	道	長沼	全	普通	2	1	2
	道	栗山	全	普通	2	1	2
石狩	道	札幌丘珠	全	普通	7	6	7
	道	札幌西陵	全	普通	6	5	6
	道	札幌真栄	全	普通	5	4	5
	道	札幌英藍	全	普通	7	6	7
	道	札幌白陵	全	普通	2	1	2
	道	野幌	全	普通	3	2	3
	道	千歳北陽	全	総合	4	3	4
	道	北広島西	全	普通	4	2	4
	道	恵庭南	全	普通	5	4	5
	道	恵庭北	全	普通	6	5	6
後志	道	倶知安	全	普通	4	3	4
胆振西	道	登別青嶺	全	普通	3	2	3
	道	伊達開来	全	普通	4	3	4
胆振東	道	白老東	全	普通	2	1	2
日高	道	静内	全	普通	5	4	5
渡島	道	七飯	全	普通	3	2	3
檜山	道	江差	全	普通	2	1	2
上川北	道	士別翔雲	全	普通	3	2	3
	道	名寄	全	普通	4	3	4
留萌	道	留萌	全	普通	4	3	4
オホーツク中	道	美幌	全	普通	2	1	2
オホーツク西	道	遠軽	全	普通	5	4	5
	道	紋別	全	普通	3	2	3
十勝	道	音更	全	普通	3	2	3
	道	清水	全	総合	3	2	3
根室	道	別海	全	普通	3	2	3
	道	中標津	全	普通	4	3	4
計		全３０校					

(2) 学級増減

① 学級増（ 網掛け ＝決定済み配置計画の変更）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
R9 (2027)	空知南	道	美唄尚栄	全	総合	1	2	＋1	1学級→2学級
		道	長沼	全	普通	1	2	＋1	1学級→2学級
		道	栗山	全	普通	1	2	＋1	1学級→2学級
	石狩	道	札幌丘珠	全	普通	6	7	＋1	6学級→7学級
		道	札幌西陵	全	普通	5	6	＋1	5学級→6学級
		道	札幌真栄	全	普通	4	5	＋1	4学級→5学級
		道	札幌英藍	全	普通	6	7	＋1	6学級→7学級
		道	札幌白陵	全	普通	1	2	＋1	1学級→2学級
		道	野幌	全	普通	2	3	＋1	2学級→3学級
		道	千歳北陽	全	総合	3	4	＋1	3学級→4学級
		道	北広島西	全	普通	2	4	＋2	2学級→4学級
		道	恵庭南	全	普通	4	5	＋1	6学級→7学級
		道	恵庭北	全	普通	5	6	＋1	5学級→6学級
	後志	道	倶知安	全	普通	3	4	＋1	3学級→4学級
	胆振西	道	登別青嶺	全	普通	2	3	＋1	2学級→3学級
		道	伊達開来	全	普通	3	4	＋1	3学級→4学級
	胆振東	道	白老東	全	普通	1	2	＋1	1学級→2学級
	日高	道	静内	全	普通	4	5	＋1	4学級→5学級
	渡島	道	七飯	全	普通	2	3	＋1	2学級→3学級
	檜山	道	江差	全	普通	1	2	＋1	1学級→2学級
	上川北	道	士別翔雲	全	普通	2	3	＋1	3学級→4学級
		道	名寄	全	普通	3	4	＋1	4学級→5学級
	留萌	道	留萌	全	普通	3	4	＋1	5学級→6学級
	オホーツク中	道	美幌	全	普通	1	2	＋1	2学級→3学級
	オホーツク西	道	遠軽	全	普通	4	5	＋1	4学級→5学級
		道	紋別	全	普通	2	3	＋1	4学級→5学級
	十勝	道	音更	全	普通	2	3	＋1	2学級→3学級
		道	清水	全	総合	2	3	＋1	2学級→3学級
		道	池田	全	総合	1	2	＋1	1学級→2学級
	根室	道	別海	全	普通	2	3	＋1	3学級→4学級
		道	中標津	全	普通	3	4	＋1	4学級→5学級
R10 (2028)	－								
R11 (2029)	－								
計			31校					＋32 (＋1280)	

② 学級減（ 網掛け ＝決定済み配置計画の変更）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	1学年総学級数
R９(2027)	オホーツク中	道	北見商業	全	商業(大学科)	3	2	－1	3学級→2学級
	釧路	道	釧路江南	全	普通	5	4	－1	5学級→4学級
	(小計)		2校					－2	
R10(2028)	後志	道	小樽桜陽	全	普通	5	4	－1	5学級→4学級
	胆振東	道	苫小牧西	全	普通	4	3	－1	4学級→3学級
	渡島	道	函館西	全	普通	6	5	－1	6学級→5学級
	上川南	道	旭川工業	全	工業化学	1	0	－1	6学級→5学級
	十勝	道	帯広緑陽	全	普通	4	3	－1	4学級→3学級
		道	芽室	全	普通	4	3	－1	4学級→3学級
	(小計)		6校					－6	
R11(2029)	－								
計			8校					－8 (－320)	

・北見商業の小学科については、「(5)　学科転換」を参照。

(3) 再編整備

① 再編統合（ 網掛け ＝決定済み配置計画の変更）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	摘要
R９(2027)	石狩	市	市立札幌藻岩	全	普通	6	0	－6	6学級→0学級
		市	市立札幌啓北商業	全	未来商学	6	0	－6	6学級→0学級
		市	市立札幌彩輝	全	未来デザイン	0	5	＋8	8学級
					ビジネスイノベーション	0	3		市立札幌藻岩高校敷地に校舎を新築
R10(2028)	釧路	道	釧路商業	全	流通マネジメント	1	0	－1	1学級→0学級
					会計マネジメント	1	0	－1	1学級→0学級
					情報マネジメント	1	0	－1	1学級→0学級
		道	釧路明輝	全	総合	4	0	－4	4学級→0学級
		道	新設校	全	総合	0	5	＋5	5学級
									釧路明輝高校校舎を使用
R11(2029)	－								
計			再編に伴う募集停止4校、新設2校					－6 (－240)	

② 募集停止

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	摘要
R９(2027)	渡島	道	南茅部	全	普通	1	0	－1	1学級→0学級
R10(2028)	上川南	道	美瑛	全	普通	1	0	－1	1学級→0学級
R11(2029)	－								
計			2校					－2 (－80)	

(4) 新設

実施年度	学　　区	設置	学　校　名	課程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	摘　　要
						実施前	実施後		
R 9 (2027)	－								
R10 (2028)	－								
R11 (2029)	－								
計									

(5) 学科転換

実施年度	学　　区	設置	学　校　名	課程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	摘　　要
						実施前	実施後		
R 9 (2027)	オホーツク中	道	北 見 商 業	全	商　　業	1	0	－1	（再掲）１学年総学級数 ３学級→２学級
					情 報 処 理	1	0	－1	
					情 報 会 計	0	1	＋1	
R10 (2028)	－								
R11 (2029)	－								

(6) 単位制の導入（ 網掛け ＝決定済み配置計画の変更案）

実施年度	学　　区	設置	学　校　名	課程	小 学 科	募集学級数	摘　　要
R 9 (2027)	石　　狩	市	市立札幌彩輝	全	未来デザイン	5	（再掲）市立札幌藻岩・市立札幌啓北商業の再編
					ビジネスイノベーション	3	
R10 (2028)	－						
R11 (2029)	－						

(7) 地域連携校の導入

実施年度	学　　区	設置	学　校　名	課程	小 学 科	協　力　校	摘　　要
R 9 (2027)	－						
R10 (2028)	－						
R11 (2029)	－						

５　中学校卒業者数の推計及び推移

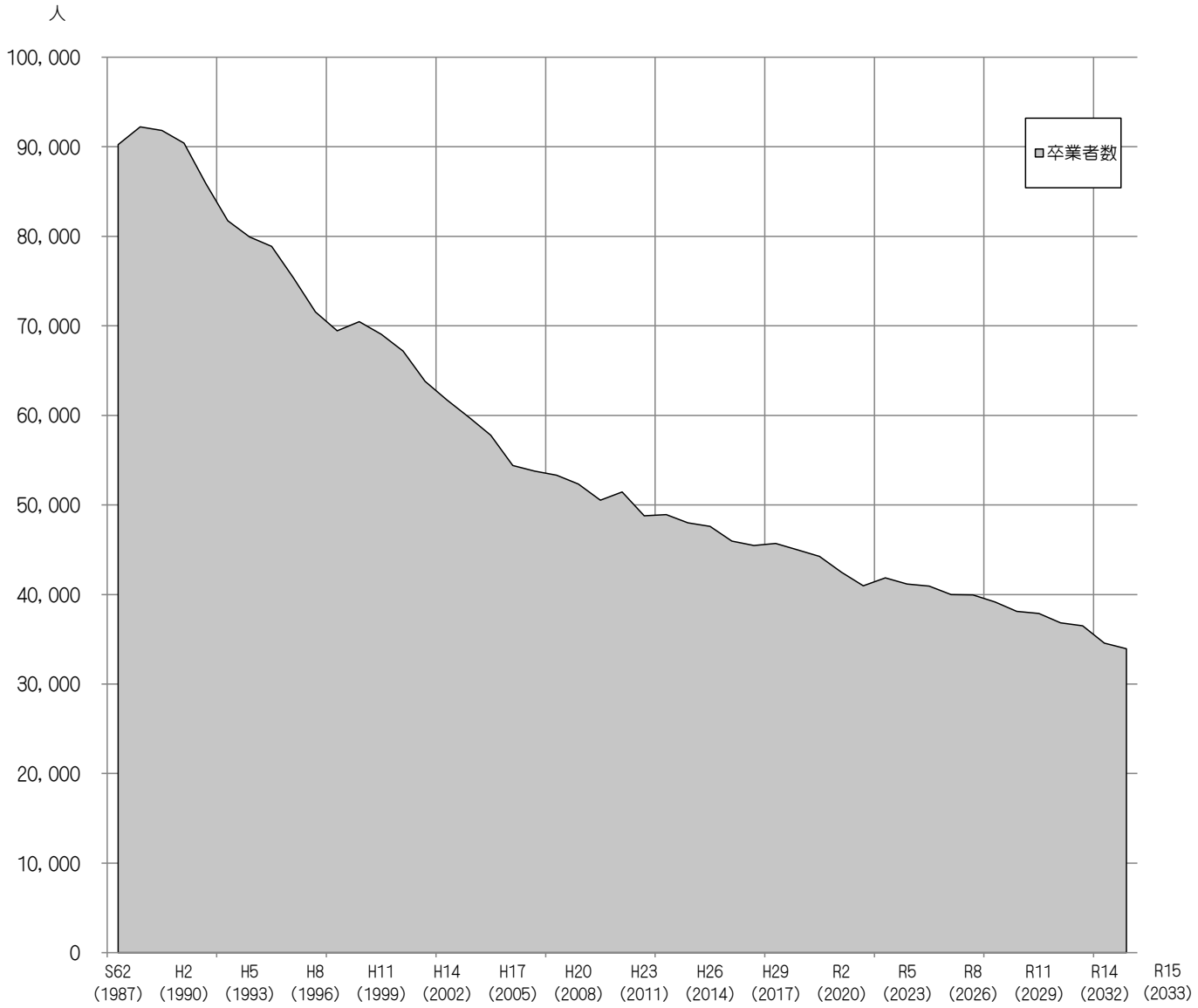
中　学　校　卒　業　者　数　推　計　表　（　令和８年(2026年)推計　）

	令和８年 (2026年)	令和９年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	令和12年 (2030年)	令和13年 (2031年)	令和14年 (2032年)	令和15年 (2033年)
空知南	1,027	1,005	929	959	911	819	853	818
		▲ 22	▲ 76	＋30	▲ 48	▲ 92	＋34	▲ 35
空知北	817	760	714	733	710	688	637	618
		▲ 57	▲ 46	＋19	▲ 23	▲ 22	▲ 51	▲ 19
石狩	19,318	18,893	18,672	18,846	18,778	18,791	17,902	17,767
		▲ 425	▲ 221	＋174	▲ 68	＋13	▲ 889	▲ 135
後志	1,336	1,309	1,236	1,262	1,152	1,142	1,028	1,050
		▲ 27	▲ 73	＋26	▲ 110	▲ 10	▲ 114	＋22
胆振西	1,190	1,210	1,211	1,068	1,055	1,109	1,005	971
		＋20	＋1	▲ 143	▲ 13	＋54	▲ 104	▲ 34
胆振東	1,666	1,631	1,610	1,608	1,522	1,504	1,432	1,372
		▲ 35	▲ 21	▲ 2	▲ 86	▲ 18	▲ 72	▲ 60
日高	478	444	458	397	431	391	365	331
		▲ 34	＋14	▲ 61	＋34	▲ 40	▲ 26	▲ 34
渡島	2,695	2,666	2,496	2,475	2,345	2,350	2,091	2,053
		▲ 29	▲ 170	▲ 21	▲ 130	＋5	▲ 259	▲ 38
檜山	212	202	174	179	147	137	141	137
		▲ 10	▲ 28	＋5	▲ 32	▲ 10	＋4	▲ 4
上川南	3,202	3,187	3,111	3,093	2,955	2,914	2,757	2,755
		▲ 15	▲ 76	▲ 18	▲ 138	▲ 41	▲ 157	▲ 2
上川北	399	392	374	345	322	338	296	314
		▲ 7	▲ 18	▲ 29	▲ 23	＋16	▲ 42	＋18
留萌	283	266	261	238	227	191	202	186
		▲ 17	▲ 5	▲ 23	▲ 11	▲ 36	＋11	▲ 16
宗谷	407	395	396	384	364	335	319	296
		▲ 12	＋1	▲ 12	▲ 20	▲ 29	▲ 16	▲ 23
オホーツク中	1,177	1,065	1,120	1,039	929	956	926	863
		▲ 112	＋55	▲ 81	▲ 110	＋27	▲ 30	▲ 63
オホーツク東	466	476	433	431	378	381	351	334
		＋10	▲ 43	▲ 2	▲ 53	＋3	▲ 30	▲ 17
オホーツク西	415	410	355	376	364	313	291	327
		▲ 5	▲ 55	＋21	▲ 12	▲ 51	▲ 22	＋36
十勝	2,704	2,743	2,630	2,528	2,422	2,360	2,292	2,221
		＋39	▲ 113	▲ 102	▲ 106	▲ 62	▲ 68	▲ 71
釧路	1,612	1,533	1,400	1,391	1,348	1,297	1,227	1,114
		▲ 79	▲ 133	▲ 9	▲ 43	▲ 51	▲ 70	▲ 113
根室	536	587	538	523	456	502	443	408
		＋51	▲ 49	▲ 15	▲ 67	＋46	▲ 59	▲ 35
合計	39,940	39,174	38,118	37,875	36,816	36,518	34,558	33,935
		▲ 766	▲ 1,056	▲ 243	▲ 1,059	▲ 298	▲ 1,960	▲ 623

※中学校卒業者数は、令和８年（2026年）５月１日現在の小学校１年生から中学校３年生までの在籍児童･生徒数を基に、過去の社会的増減等を勘案した推計値。
※令和８年（2026年）は実数、令和９年（2027年）以降の上段は中卒者数、下段は前年比増減。

北海道における中学校卒業（見込）者数の推移
（昭和62年（1987年）～令和15年（2033年））

（注）１　昭和62年（1987年）～令和８年（2026年）は実卒業者数である。
　　２　令和９年（2027年）～令和15年（2033年）は学校基本調査（令和８年（2026年）５月１日現在）に準じた調査による在籍児童・生徒数を基に推計した。



年	S62 (1987)	S63 (1988)	H元 (1989)	H2 (1990)	H3 (1991)	H4 (1992)	H5 (1993)	H6 (1994)	H7 (1995)	H8 (1996)	H9 (1997)	H10 (1998)	H11 (1999)
卒業者数	90,257	92,222	91,810	90,400	85,909	81,733	79,911	78,884	75,348	71,550	69,441	70,462	69,047
増　減	+1,298	+1,965	-412	-1,410	-4,491	-4,176	-1,822	-1,027	-3,536	-3,798	-2,109	+1,021	-1,415

年	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)
卒業者数	67,180	63,800	61,714	59,783	57,804	54,415	53,778	53,330	52,339	50,537	51,437	48,778	48,907
増　減	-1,867	-3,380	-2,086	-1,931	-1,979	-3,389	-637	-448	-991	-1,802	+900	-2,659	+129

年	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
卒業者数	48,015	47,620	45,958	45,458	45,689	44,989	44,255	42,496	40,983	41,845	41,178	40,951	39,970
増　減	-892	-395	-1,662	-500	+231	-700	-734	-1,759	-1,513	+862	-667	-227	-981

年	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)
卒業者数	39,940	39,174	38,118	37,875	36,816	36,518	34,558	33,935
増　減	-30	-766	-1,056	-243	-1,059	-298	-1,960	-623

Ⅲ　公立高等学校配置計画（令和９年度（2027年度）～11年度（2029年度））学区別個表

空知南学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	1,027	1,005	929	959	911	819	853	818	▲ 209	▲ 141
対前年増減		▲ 22	▲ 76	＋ 30	▲ 48	▲ 92	＋ 34	▲ 35		
岩見沢市中卒者数	(595)	(582)	(525)	(555)	(508)	(483)	(469)	(459)	▲ 136	▲ 96
対前年増減		▲ 13	▲ 57	＋ 30	▲ 47	▲ 25	▲ 14	▲ 10		
美唄市中卒者数	(107)	(89)	(94)	(93)	(95)	(70)	(90)	(69)	▲ 38	▲ 24
対前年増減		▲ 18	＋ 5	▲ 1	＋ 2	▲ 25	＋ 20	▲ 21		
三笠市中卒者数	(44)	(33)	(46)	(36)	(40)	(36)	(43)	(31)	▲ 13	▲ 5
対前年増減		▲ 11	＋ 13	▲ 10	＋ 4	▲ 4	＋ 7	▲ 12		
夕張市中卒者数	(25)	(31)	(23)	(20)	(17)	(15)	(18)	(14)	▲ 11	▲ 6
対前年増減		＋ 6	▲ 8	▲ 3	▲ 3	▲ 2	＋ 3	▲ 4		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単普新 岩見沢東	6		6	38				○４年間で３～４学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数が多い岩見沢市を中心に、周辺市町を含めた公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	月形、夕張の協力校 文理探究科(普通科新学科)
岩見沢農業		農 7	7	79					
*岩見沢緑陵	4	商 2	6	3					
総 美唄尚栄	2→1		1	4	総＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
美唄聖華		看 2	2	36					
*三　笠		家 1	1	0					
地 月　形	1		1	22					再編整備留保
地 夕　張	1		1	21					
長　沼	2→1		1	6	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
栗　山	2→1		1	10	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
10校	18 →15	12	27	219	総＋１ 普＋２				

注１　学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。（以下同）

注２　学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「普新」は普通科新学科設置校、「ア」はアンビシャススクール、「中高」は連携型中高一貫教育校、「※中高」は連携型中高一貫教育校に準じる学校、「中等」は中等教育学校、「地」は地域連携校。（以下同）

注３　学校名の＊は市町村立学校。（以下同）

注４　（　　）は定時制課程で計欄に含まない。（以下同）

注５　令和８年度（2026年度）募集学級数の「→」表示は、第２次募集後の学級減を実施したことを示す。（以下同）
なお、令和９年度（2027年度）の募集学級数は、中卒者数の状況や生徒の進路動向等を精査し、計画決定時に公表する。（以下同）

注６　「令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し」欄の学級数の調整については令和15年（2033年）と令和11年（2029年）の中卒者数の比較により算出。（以下同）

空知北学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	817	760	714	733	710	688	637	618	▲ 199	▲ 115
対前年増減		▲ 57	▲ 46	＋ 19	▲ 23	▲ 22	▲ 51	▲ 19		
滝川市中卒者数	(283)	(290)	(231)	(246)	(213)	(216)	(212)	(211)	▲ 72	▲ 35
対前年増減		＋ 7	▲ 59	＋ 15	▲ 33	＋ 3	▲ 4	▲ 1		
砂川市中卒者数	(106)	(89)	(108)	(87)	(104)	(92)	(81)	(93)	▲ 13	＋ 6
対前年増減		▲ 17	＋ 19	▲ 21	＋ 17	▲ 12	▲ 11	＋ 12		
歌志内市中卒者数	(4)	(10)	(7)	(7)	(4)	(6)	(6)	(5)	＋ 1	▲ 2
対前年増減		＋ 6	▲ 3	± 0	▲ 3	＋ 2	± 0	▲ 1		
芦別市中卒者数	(63)	(54)	(55)	(53)	(54)	(39)	(46)	(36)	▲ 27	▲ 17
対前年増減		▲ 9	＋ 1	▲ 2	＋ 1	▲ 15	＋ 7	▲ 10		
赤平市中卒者数	(42)	(50)	(35)	(43)	(38)	(33)	(42)	(21)	▲ 21	▲ 22
対前年増減		＋ 8	▲ 15	＋ 8	▲ 5	▲ 5	＋ 9	▲ 21		
深川市中卒者数	(122)	(96)	(117)	(115)	(114)	(113)	(99)	(92)	▲ 30	▲ 23
対前年増減		▲ 26	＋ 21	▲ 2	▲ 1	▲ 1	▲ 14	▲ 7		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　滝　川	5		5	11				○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数が多い滝川市を中心に、周辺市町を含めた公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○地域連携校について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	芦別の協力校
滝川工業		工　2	2	57					
*滝 川 西	3	商　3	6	23					
単　砂　川	2		2	10					
新十津川農業		農　1	1	0					
地　芦　別	1		1	23					
深 川 西	2		2	28					
深 川 東		農　1	1	17					
8校	13	7	20	169					

石狩学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	19,318	18,893	18,672	18,846	18,778	18,791	17,902	17,767	▲ 1,551	▲ 1,079
対前年増減		▲ 425	▲ 221	＋ 174	▲ 68	＋ 13	▲ 889	▲ 135		
札幌市中卒者数	(15,486)	(15,058)	(14,956)	(15,074)	(15,029)	(15,066)	(14,354)	(14,217)	▲ 1,269	▲ 857
対前年増減		▲ 428	▲ 102	＋ 118	▲ 45	＋ 37	▲ 712	▲ 137		
江別市中卒者数	(1,190)	(1,177)	(1,147)	(1,194)	(1,167)	(1,146)	(1,158)	(1,152)	▲ 38	▲ 42
対前年増減		▲ 13	▲ 30	＋ 47	▲ 27	▲ 21	＋ 12	▲ 6		
千歳市中卒者数	(852)	(883)	(847)	(868)	(839)	(843)	(788)	(769)	▲ 83	▲ 99
対前年増減		＋ 31	▲ 36	＋ 21	▲ 29	＋ 4	▲ 55	▲ 19		
恵庭市中卒者数	(634)	(616)	(601)	(608)	(606)	(602)	(541)	(550)	▲ 84	▲ 58
対前年増減		▲ 18	▲ 15	＋ 7	▲ 2	▲ 4	▲ 61	＋ 9		
北広島市中卒者数	(550)	(561)	(523)	(529)	(569)	(507)	(509)	(496)	▲ 54	▲ 33
対前年増減		＋ 11	▲ 38	＋ 6	＋ 40	▲ 62	＋ 2	▲ 13		
石狩市中卒者数	(507)	(484)	(496)	(470)	(464)	(514)	(446)	(476)	▲ 31	＋ 6
対前年増減		▲ 23	＋ 12	▲ 26	▲ 6	＋ 50	▲ 68	＋ 30		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
札 幌 東	8		8	0				○４年間で公私比率勘案後17～18学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、札幌市の整備計画も踏まえた上で、札幌市内の再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○複数の学科を設置している定時制課程について、いずれかの学科で５月１日現在の第１学年の在籍者数が１０人未満となりその後も生徒数の増が見込まれない場合は、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要（札幌工業、札幌琴似工業）	
札 幌 西	8		8	0					
札 幌 南	8		8	-2					
札 幌 北	8		8	0					
札幌月寒	8		8	-2					
札幌啓成	8		8	-1					
札幌北陵	8		8	0					
単　札幌手稲	8		8	6					
札幌丘珠	7→6		6	26	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
札幌西陵	6→5		5	26	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
単　札幌白石	7		7	0					
単　札幌東陵	7		7	1					
札幌南陵	2		2	28					
札幌東豊	2		2	17					
総　札幌厚別	7		7	10					
札幌真栄	5→4		4	12	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
札幌あすかぜ	2		2	27					
札幌稲雲	7		7	29					
札幌平岡	6		6	0					
単　札幌英藍	7→6		6	10	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減

	学校名	令和８年度（2026年度）の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８（2026）欠員	令和９年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）	令和11年度（2029年度）	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
	札幌白陵	2→1		1	3	普＋１（計画変更）				R８（2026）入選第２次募集後学級減
	札幌国際情報	4	工 1 商 3	8	0					
	江　別	5	商 1 家 1	7	0					
ア	野　幌	3→2		2	10	普＋１（計画変更）				R８（2026）入選第２次募集後学級減
単	大　麻	7		7	33					
	千　歳	6	商 2	8	3					
総ア	千歳北陽	4→3		3	5	総＋１（計画変更）				R８（2026）入選第２次募集後学級減
単	北広島	7		7	0					
	北広島西	4→2		2	0	普＋２（計画変更）				R８（2026）入選第２次募集後学級減
	石狩南	7		7	9					
	当　別	1	農 1 家 1	3	60					
	恵庭南	7→6		6	43	普＋１（計画変更）				R８（2026）入選第２次募集後学級減
	恵庭北	6→5		5	14	普＋１（計画変更）				R８（2026）入選第２次募集後学級減
	札幌工業		工 8	8	31					
	札幌琴似工業		工 8	8	52					
	札幌東商業		商 8	8	0					
総	石狩翔陽	8		8	0					
単	*市立札幌旭丘	8		8	0					
単	*市立札幌藻岩	6		6	0	普▲６				
	*市立札幌啓北商業		商 6	6	67	商▲６				
	*市立札幌彩輝					普＋５ 商＋３ 単位制導入 普通科新学科設置				市立札幌藻岩高校敷地に校舎を新築
	*市立札幌平岸	8		8	0					
単	*市立札幌清田	6		6	17					
中等	*市立札幌開成	4		4	5					
	*市立札幌新川	8		8	0					
	44校	240→229	40	269	539	普▲６　商▲６ 普＋１５　商＋３ 総＋１				

後志学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	1,336	1,309	1,236	1,262	1,152	1,142	1,028	1,050	▲ 286	▲ 212
対前年増減		▲ 27	▲ 73	＋ 26	▲ 110	▲ 10	▲ 114	＋ 22		
小樽市中卒者数	(689)	(684)	(616)	(623)	(584)	(596)	(523)	(548)	▲ 141	▲ 75
対前年増減		▲ 5	▲ 68	＋ 7	▲ 39	＋ 12	▲ 73	＋ 25		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
小樽潮陵	5		5	1				○４年間で公私比率勘案後３～４学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数が多い小樽市を中心に、周辺市町を含めた公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○地域連携校等について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要 ○小樽市内の定時制課程について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が１０人未満となるなど小規模化していることから、生徒の進路動向を踏まえながら今後の在り方の検討が必要	
単　小樽桜陽	5		5	28		普▲1			
単 小樽未来創造		工 2 商 2	4	32					
小樽水産		水 4	4	23					
総　余市紅志	1		1	13					
単　岩　内	2	商 1	3	47					寿都の協力校
地　寿　都	1		1	23					
単　倶 知 安	4→3		3	16	普＋1 (計画変更)				蘭越の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　蘭　越	1		1	17					
倶知安農業		農 1	1	24					
総 *ニセコ国際	2		2	13					
11校	21 →20	10	30	237	普＋1	普▲1			

胆振西学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	1,190	1,210	1,211	1,068	1,055	1,109	1,005	971	▲ 219	▲ 97
対前年増減		＋ 20	＋ 1	▲ 143	▲ 13	＋ 54	▲ 104	▲ 34		
室蘭市中卒者数	(501)	(535)	(523)	(437)	(442)	(450)	(420)	(407)	▲ 94	▲ 30
対前年増減		＋ 34	▲ 12	▲ 86	＋ 5	＋ 8	▲ 30	▲ 13		
登別市中卒者数	(359)	(353)	(373)	(326)	(304)	(357)	(315)	(293)	▲ 66	▲ 33
対前年増減		▲ 6	＋ 20	▲ 47	▲ 22	＋ 53	▲ 42	▲ 22		
伊達市中卒者数	(221)	(235)	(218)	(220)	(209)	(228)	(174)	(182)	▲ 39	▲ 38
対前年増減		＋ 14	▲ 17	＋ 2	▲ 11	＋ 19	▲ 54	＋ 8		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
室 蘭 栄	5		5	7				○４年間で公私比率勘案後１～２学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、室蘭市内及び周辺市町も含めた圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	
単 室蘭清水丘	4		4	33					
総 室蘭東翔	4		4	6					
室蘭工業		工 3	3	38					
単 登別青嶺	3→2		2	22	普＋１(計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
中等 登別明日	2		2	24					
単 伊達開来	4→3		3	2	普＋１(計画変更)				虻田の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地 虻 田		商 1	1	27					再編整備留保
*壮 瞥		農 1	1	18					
9校	22→20	5	25	177	普＋２				

胆振東学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	1,666	1,631	1,610	1,608	1,522	1,504	1,432	1,372	▲ 294	▲ 236
対前年増減		▲ 35	▲ 21	▲ 2	▲ 86	▲ 18	▲ 72	▲ 60		
苫小牧市中卒者数	(1,444)	(1,433)	(1,394)	(1,412)	(1,330)	(1,324)	(1,244)	(1,175)	▲ 269	▲ 237
対前年増減		▲ 11	▲ 39	＋ 18	▲ 82	▲ 6	▲ 80	▲ 69		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
苫小牧東	6		6	0				○４年間で公私比率勘案後４～５学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、苫小牧市内及び周辺市町における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○地域連携校について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	厚真の協力校
苫小牧西	4		4	0		普▲1			
単　苫小牧南	4		4	3					
苫小牧工業		工　6	6	17					
苫小牧総合経済		商　3	3	22					
白 老 東	2→1		1	14	普＋１(計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　厚　真	1		1	23					
追　分	1		1	7					
中高　鵡　川	2		2	31					
9校	20→19	9	28	117	普＋１	普▲1			

日高学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	478	444	458	397	431	391	365	331	▲ 147	▲ 66
対前年増減		▲ 34	＋ 14	▲ 61	＋ 34	▲ 40	▲ 26	▲ 34		
浦河町中卒者数	(95)	(63)	(75)	(64)	(76)	(61)	(54)	(60)	▲ 35	▲ 4
対前年増減		▲ 32	＋ 12	▲ 11	＋ 12	▲ 15	▲ 7	＋ 6		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　静　内	5→4		4	16	普＋１(計画変更)			○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況を考慮し、学区全体の高校配置の在り方について検討が必要	平取の協力校 R８(2025)入選第２次募集後学級減
静内農業		農 2	2	8					
富　川	1		1	16					
地　平　取	1		1	9					
総　浦　河	3		3	36					
中高 *え り も	2		2	42					
6校	12→11	2	13	127	普＋１				

渡島学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	2,695	2,666	2,496	2,475	2,345	2,350	2,091	2,053	▲ 642	▲ 422
対前年増減		▲ 29	▲ 170	▲ 21	▲ 130	＋ 5	▲ 259	▲ 38		
函館市中卒者数	(1,768)	(1,751)	(1,596)	(1,641)	(1,548)	(1,556)	(1,367)	(1,380)	▲ 388	▲ 261
対前年増減		▲ 17	▲ 155	＋ 45	▲ 93	＋ 8	▲ 189	＋ 13		
北斗市中卒者数	(369)	(360)	(368)	(311)	(328)	(309)	(313)	(258)	▲ 111	▲ 53
対前年増減		▲ 9	＋ 8	▲ 57	＋ 17	▲ 19	＋ 4	▲ 55		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
函館中部	5		5	-2				○４年間で公私比率勘案後６～７学級に相当する中卒者の減	南茅部の協力校
単 函館西	6		6	0		普▲1		○中卒者数やこれまでの定員調整の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、函館市内及び周辺市町における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要	松前の協力校
単 ＊市立函館	5		5	-1					
函館水産		水 3	3	45				○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要	
函館商業		商 4	4	1				○地域連携校以外の第１学年１学級の高校について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、再編整備の検討が必要	福島商業の協力校
函館工業		工 5	5	2					森の協力校
地 南茅部	1		1	33	普▲1			○地域連携校について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	
上 磯	1		1	26					
七 飯	3→2		2	11	普＋1 (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
大野農業		農 3	3	63					
地 松前	1		1	15					
＊知内	2		2	9					
地 福島商業		商 1	1	24					
八 雲	2	商 1	3	55					長万部の協力校
総地 森	1		1	11					
地 長万部	1		1	15					
16校	28→27	17	44	307	普▲1 普＋1	普▲1			

檜山学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	212	202	174	179	147	137	141	137	▲ 75	▲ 42
対前年増減		▲ 10	▲ 28	＋ 5	▲ 32	▲ 10	＋ 4	▲ 4		
江差町中卒者数	(41)	(35)	(33)	(42)	(25)	(19)	(41)	(25)	▲ 16	▲ 17
対前年増減		▲ 6	▲ 2	＋ 9	▲ 17	▲ 6	＋ 22	▲ 16		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　江　差	2→1		1	6	普＋１(計画変更)			○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況を考慮し、学区全体の高校配置の在り方について検討が必要	上ノ国の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　上ノ国	1		1	15					
総　檜山北	2		2	26					
中高　＊奥　尻	1		1	30					
4校	6→5	0	5	77	普＋１				

上川南学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	3,202	3,187	3,111	3,093	2,955	2,914	2,757	2,755	▲ 447	▲ 338
対前年増減		▲ 15	▲ 76	▲ 18	▲ 138	▲ 41	▲ 157	▲ 2		
旭川市中卒者数	(2,448)	(2,456)	(2,390)	(2,393)	(2,293)	(2,262)	(2,151)	(2,094)	▲ 354	▲ 299
対前年増減		＋ 8	▲ 66	＋ 3	▲ 100	▲ 31	▲ 111	▲ 57		
富良野市中卒者数	(172)	(157)	(165)	(149)	(122)	(120)	(107)	(125)	▲ 47	▲ 24
対前年増減		▲ 15	＋ 8	▲ 16	▲ 27	▲ 2	▲ 13	＋ 18		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
旭川東	6		6	0				○４年間で公私比率勘案後５～６学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、旭川市内及び周辺町における再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○地域連携校以外の第１学年１学級の高校について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、再編整備の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	上川の協力校
単 旭川西	5		5	0					
単 旭川北	5		5	0					
総 旭川南	5		5	11					
単 旭川永嶺	5		5	0					
旭川商業		商 5	5	38					
旭川工業		工 6	6	46		工▲1			
旭川農業		農 4	4	20					
鷹栖	1		1	23					
東川	2		2	10					
美瑛	1		1	25		普▲1			
中高地 上川	1		1	23					再編整備留保
単 富良野	3	工 1 農 1	5	54					
上富良野	1		1	17					
*南富良野	1		1	19					
15校	36	17	53	286		普▲1　工▲1			

上川北学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～ 2033)年までの増減	令和12～15 (2030～ 2033)年までの増減
学区内中卒者数	399	392	374	345	322	338	296	314	▲ 85	▲ 31
対前年増減		▲ 7	▲ 18	▲ 29	▲ 23	＋ 16	▲ 42	＋ 18		
士別市中卒者数	（ 110 ）	（ 124 ）	（ 79 ）	（ 101 ）	（ 84 ）	（ 89 ）	（ 81 ）	（ 74 ）	▲ 36	▲ 27
対前年増減		＋ 14	▲ 45	＋ 22	▲ 17	＋ 5	▲ 8	▲ 7		
名寄市中卒者数	（ 178 ）	（ 184 ）	（ 184 ）	（ 168 ）	（ 171 ）	（ 160 ）	（ 136 ）	（ 164 ）	▲ 14	▲ 4
対前年増減		＋ 6	± 0	▲ 16	＋ 3	▲ 11	▲ 24	＋ 28		

学校名	令和８年度 (2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８ (2026) 欠員	令和９年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度） までの見通し	摘要
士別翔雲	3→2	商　1	3	35	普＋１ (計画変更)			○４年間で０～１学級に相当する中卒者の減 ○地域連携校について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	下川商業の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　下川商業		商　1	1	28					
単　名　寄	4→3	工　1	4	28	普＋１ (計画変更)				美深の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　美　深	1		1	13					
総　*剣　淵	1		1	30					
*おといねっぷ 美術工芸	1		1	3					
6校	10 →8	3	11	137	普＋２				

留萌学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	283	266	261	238	227	191	202	186	▲ 97	▲ 52
対前年増減		▲ 17	▲ 5	▲ 23	▲ 11	▲ 36	＋ 11	▲ 16		
留萌市中卒者数	（ 116 ）	（ 133 ）	（ 97 ）	（ 96 ）	（ 112 ）	（ 80 ）	（ 96 ）	（ 91 ）	▲ 25	▲ 5
対前年増減		＋ 17	▲ 36	▲ 1	＋ 16	▲ 32	＋ 16	▲ 5		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　留　萌	4→3	工　1 商　1	5	74	普＋１ (計画変更)			○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	苫前商業、天塩の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
羽　幌	2		2	15					
地　苫前商業		商　1	1	16					
地　天　塩	1		1	22					再編整備留保
遠別農業		農　1	1	20					
5校	7→6	4	10	147	普＋１				

宗谷学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	407	395	396	384	364	335	319	296	▲ 111	▲ 88
対前年増減		▲ 12	＋ 1	▲ 12	▲ 20	▲ 29	▲ 16	▲ 23		
稚内市中卒者数	(230)	(209)	(218)	(217)	(211)	(175)	(176)	(159)	▲ 71	▲ 58
対前年増減		▲ 21	＋ 9	▲ 1	▲ 6	▲ 36	＋ 1	▲ 17		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　稚　内	3	商 1 看 1	5	56				○４年間で公私比率勘案後１～２学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○地域連携校について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	豊富の協力校 普通科、商業科単位制
地　豊　富	1		1	29					
浜　頓　別	1		1	22					
枝　幸	1		1	23					
利　尻	1		1	28					
礼　文	1		1	26					
6校	8	2	10	184					

オホーツク中学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	1,177	1,065	1,120	1,039	929	956	926	863	▲ 314	▲ 176
対前年増減		▲ 112	＋ 55	▲ 81	▲ 110	＋ 27	▲ 30	▲ 63		
北見市中卒者数	(904)	(813)	(846)	(809)	(730)	(769)	(713)	(694)	▲ 210	▲ 115
対前年増減		▲ 91	＋ 33	▲ 37	▲ 79	＋ 39	▲ 56	▲ 19		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
北見北斗	6		6	14				○４年間で公私比率勘案後３～４学級に相当する中卒者の減	常呂の協力校
単　北見柏陽	5		5	0				○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、北見市内及び周辺町における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要	佐呂間の協力校
単　北見緑陵	3		3	-1					
北見工業		工 3	3	47				○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要	
北見商業		商 3	3	46	商▲1			○地域連携校について、５月１日現在の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	
置　戸		福 1	1	13					
地　佐呂間	1		1	22				○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	
地　常　呂	1		1	29					再編整備留保
訓子府	1		1	11					
地　津　別	1		1	17					
美　幌	2→1	農 1	2	44	普＋1(計画変更)				津別の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
11校	20→19	8	27	242	普＋1 商▲1				

オホーツク東学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	466	476	433	431	378	381	351	334	▲ 132	▲ 97
対前年増減		＋ 10	▲ 43	▲ 2	▲ 53	＋ 3	▲ 30	▲ 17		
網走市中卒者数	(257)	(250)	(232)	(233)	(170)	(211)	(182)	(184)	▲ 73	▲ 49
対前年増減		▲ 7	▲ 18	＋ 1	▲ 63	＋ 41	▲ 29	＋ 2		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単 網走南ケ丘	4		4	0				○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数が多い網走市を中心に、高校配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	清里の協力校
網走桂陽	2	商 2	4	67					
総 斜 里	1		1	32					
地 清 里	1		1	12					
総 ＊大 空	1		1	0					
5校	9	2	11	111					

オホーツク西学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	415	410	355	376	364	313	291	327	▲ 88	▲ 49
対前年増減		▲ 5	▲ 55	＋ 21	▲ 12	▲ 51	▲ 22	＋ 36		
紋別市中卒者数	（ 138 ）	（ 143 ）	（ 106 ）	（ 129 ）	（ 123 ）	（ 95 ）	（ 93 ）	（ 100 ）	▲ 38	▲ 29
対前年増減		＋ 5	▲ 37	＋ 23	▲ 6	▲ 28	▲ 2	＋ 7		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　遠　軽	5→4		4	1	普＋１ (計画変更)			○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要 ○定時制課程について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が３年連続で１０人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、定時制課程の配置状況を考慮しながら、再編整備の検討が必要（遠軽）	R８(2026)入選第２次募集後学級減
紋　別	3→2	商　1 工　1	4	59	普＋１ (計画変更)				興部、雄武の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　興　部	1		1	-1					
地　雄　武	1		1	21					再編整備留保
※中高　湧　別	2		2	30					
5校	12 →10	2	12	110	普＋２				

十勝学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	2,704	2,743	2,630	2,528	2,422	2,360	2,292	2,221	▲ 483	▲ 307
対前年増減		＋ 39	▲ 113	▲ 102	▲ 106	▲ 62	▲ 68	▲ 71		
帯広市中卒者数	(1,278)	(1,330)	(1,299)	(1,205)	(1,221)	(1,162)	(1,175)	(1,143)	▲ 135	▲ 62
対前年増減		＋ 52	▲ 31	▲ 94	＋ 16	▲ 59	＋ 13	▲ 32		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
帯広柏葉	6		6	-1				○４年間で公私比率勘案後５～６学級に相当する中卒者の減	本別の協力校
単　帯広三条	6		6	0				○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、帯広市内及び周辺町における再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要	池田の協力校
帯広緑陽	4		4	0		普▲1			
帯広工業		工 4	4	3				○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要	
帯広農業		農 5	5	17				○地域連携校以外の第１学年１学級の高校について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、再編整備の検討が必要	
＊帯広南商業		商 5	5	0					
単　音　更	3→2		2	30	普＋1 (計画変更)			○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	R８(2026)入選第２次募集後学級減
芽　室	4		4	13		普▲1			
幕別清陵	3		3	35					
上士幌	2		2	23					
＊士　幌		農 2	2	43					
総　清　水	3→2		2	22	総＋1 (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
中高　鹿　追	2		2	35					
更別農業		農 2	2	47					
普新　大　樹	1		1	22					地域探究科(普通科新学科)
中高　広　尾	1		1	13					
総地　池　田	1		1	7	総＋1 (計画変更)				
地　本　別	1		1	9					
足　寄	2		2	35					
19校	39 →37	18	55	353	普＋1 総＋2	普▲2			

釧路学区高校配置計画

区　分	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	令和９～15(2027～2033)年までの増減	令和12～15(2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	1,612	1,533	1,400	1,391	1,348	1,297	1,227	1,114	▲ 498	▲ 277
対前年増減		▲ 79	▲ 133	▲ 9	▲ 43	▲ 51	▲ 70	▲ 113		
釧路市中卒者数	(1,209)	(1,154)	(1,052)	(1,030)	(995)	(962)	(918)	(782)	▲ 427	▲ 248
対前年増減		▲ 55	▲ 102	▲ 22	▲ 35	▲ 33	▲ 44	▲ 136		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
普新 釧路湖陵	5		5	0				○４年間で公私比率勘案後６～７学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、釧路市内及び周辺町村における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要	阿寒の協力校 文理探究科(普通科新学科)
単 釧路江南	5		5	-1	普▲１				弟子屈の協力校
釧路工業		工 5	5	63					
釧路商業		商 3	3	-2		商▲３			
総 釧路明輝	4		4	0		総▲４			
新設校						総＋５			釧路明輝高校校舎を使用
単 ＊釧路北陽	5		5	5					
釧 路 東	2		2	20					
地 阿　寒	1		1	17					
白　糠	1		1	10					
総 標　茶	2		2	38					
地 弟 子 屈	1		1	20					
厚岸翔洋	1	水 1	2	55					
＊霧 多 布	2		2	44					
13校	29	9	38	269	普▲１	商▲３　総▲４ 総＋５			

根室学区高校配置計画

区　分	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	令和９～15 (2027～2033)年までの増減	令和12～15 (2030～2033)年までの増減
学区内中卒者数	536	587	538	523	456	502	443	408	▲ 128	▲ 115
対前年増減		＋ 51	▲ 49	▲ 15	▲ 67	＋ 46	▲ 59	▲ 35		
根室市中卒者数	（ 138 ）	（ 152 ）	（ 133 ）	（ 154 ）	（ 132 ）	（ 147 ）	（ 128 ）	（ 101 ）	▲ 37	▲ 53
対前年増減		＋ 14	▲ 19	＋ 21	▲ 22	＋ 15	▲ 19	▲ 27		

学校名	令和８年度(2026年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R８(2026)欠員	令和９年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)	令和12～15年度（2030～2033年度）までの見通し	摘要
単　根　室	3	商　2	5	92				○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	
別　海	3→2	農　1	3	50	普＋１ (計画変更)				R８(2026)入選第２次募集後学級減
中 標 津	4→3	商　1	4	25	普＋１ (計画変更)				標津、羅臼の協力校 R８(2026)入選第２次募集後学級減
地　標　津	1		1	7					
*中標津農業		農　2	2	58					
中高 羅　臼	1		1	28					再編整備留保
6校	12 →10	6	16	260	普＋２				